

令和 8 年度 市立弥栄小学校給食室修繕

図 面 リ ス ト					
A-特01	特記仕様書	—	E-01	電気設備配置図	1/350
A-改特01	改修特記仕様書(1)	—	E-02	盤結線図 1	—
A-改特02	改修特記仕様書(2)	—	E-03	盤結線図 2	—
A-改特03	改修特記仕様書(3)	—	E-04	幹線動力設備図 (改修)	1/100
A-改特04	改修特記仕様書(4)	—	E-05	電灯設備機器姿図	—
A-改特05	改修特記仕様書(5)	—	E-06	電灯設備図 (改修)	1/100
A-改特06	改修特記仕様書(6)	—	E-07	コンセント設備図 (改修)	1/100
A-改特07	改修特記仕様書(7)	—	E-08	弱電設備図 (改修)	1/100
A-改特08	改修特記仕様書(8)	—	E-09	放送設備図 (改修)	1/100
A-改特09	改修特記仕様書(9)	—	E-10	自火報設備図 (改修)	1/100
A-改特10	改修特記仕様書(11)	—	E-11	幹線動力設備図 (既存)	1/100
A-改特11	改修特記仕様書(12)	—	E-12	電灯設備図 (既存)	1/100
A-改特12	改修特記仕様書(13)	—	E-13	コンセント設備図 (既存)	1/100
A-改特13	改修特記仕様書(14)	—	E-14	弱電設備図 (既存)	1/100
			E-15	放送設備図 (既存)	1/100
A-01	案内図・配置図	1/1500, 1/500	E-16	自火報設備図 (既存)	1/100
A-02	仮設計画図	1/500, 1/30, 1/20			
A-03	既存 平面図・展開図 (1)	1/50	P-01	給食室平面詳細図 (既存)	1/50
A-04	既存 展開図 (2)	1/50	P-02	給食室平面詳細図 (改修)	1/50
A-05	改修 平面図・展開図 (1)	1/50, 1/30	P-03	凡例・厨房器具リスト (既存) (改修)	—
A-06	改修 展開図 (2) ・建具表	1/50			
A-07	既存・改修 天井伏図、部分詳細図	1/100, 1/50, 1/30 1/5			

SAGAMIHARA

相模原市

工事名称
市立弥栄小学校給食室修繕

II．工事契約関係

I．工事概要

1．工事名称

2．工事場所

3．建物概要

名称：市立弥栄小学校給食室修繕

相模原市中心区弥栄3丁目1番10号

(1) 建物名称：相模原市立弥栄小学校(給食室)

(2) 構造　　：鉄骨造

4．工事項目・内容

・既存給食室修繕

6．施工条件

※施工日及び施工時間等は、現場説明書　3（2）施工項目による

・施工順序の制約の有無

制限内容　※現場説明書　3（2）施工項目による

・概成工期　内容（　　　　　）年 月 （　　　　　）日

2-1　工事区分

工事目的物を建築工事、電気設備工事、给排水衛生設備工事及び空調調と設備工事等に分割して発注する場合の区分表は、別添「工事区分表」による。

2-2　用語の定義

「監督員」とは、相模原市請負工事監督規程による監督員をいい、「契約条項」とは、相模原市工事請負契約書の契約条項をいう。

受注者は、契約金額500万（税込）以上の工事を締結した場合、（一財）日本建設情報総合センターへ工事実績情報の登録をしなければならない。
登録は、登録（受注登録・変更登録・竣工登録）が必要な時期に速やかに実施すること。

受注者は、下請契約を締結したときは、施工体制台帳を作成し現場に据え置かなければならない。
また、併せて施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

設計図書に疑義が生じた場合は、監督員と協議を行い承諾を得てから施工を行う。

1　受注者は施工に先立ち、工事に関連する部分の実測を行った上で設計図書との照合を行い、所定の寸法が確保できることを確認する。なお、寸法等の変更を要する箇所が生じた場合には監督員に報告するとともに、施工图、製作図等を作成し監督員の承諾を受けること。
2　製作、発注物品の同等確認等は製作・発注前に必ず監督員の承諾を受けること。
3　施工上の納まり、取合い等の関係で簡易な調整を行う場合は、監督員との協議による。

―1―契約条項第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（「基本計画書」といふ。）を発注者に提出し、承諾を受けること。
―2―工事の施工を一時中止する場合には、工事の続行に備えて工事現場を保全すること。

1　受注者は、工事の着手に先立ち、別契約を含む施工上密接に関連する工事の関係者と調整のうえ、実施工程表を作成し、監督員の承諾を受ける。なお、契約金額が5,000万円以上の工事の実施工程表は、原則ネットワーク手法による。
―2―実施工程表には、月毎の予定進捗率（％）を併記する。

1　工事（工程）写真
(1) 工事（工程）写真については、営繕工事写真撮影要領「工事写真撮影ガイドブック　各工事編」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）に準拠すること。
上記により難しい場合、監督員と協議し決定すること。
2　完成写真（契約条項第32条に基づく工事完成届に添付）
(1) 工事着手前と completion後と同じアングルで撮影し、完成写真帳として見開きで比較できるよう整理する。
(2)解体工事にあたっては、上記に加え地下埋設部分の施工写真を添付する。

1　建設副産物
(1) 建設副産物（コンクリート・アスファルト塊・路盤材） 「建設副産物適正処理推進要綱」による。
2　発生材
受注者は、関係法令に従い、受注者の責任において処分を行うものとする。また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」において定める産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより管理するものとする。産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）で管理した場合は、A票及びE票が送付され次第、その原本を監督員に提示する。電子マニフェストで管理した場合は、運搬終了報告、処分終了報告、最終処分終了報告の通知が届き次第、その原本を監督員に提示する。

1　使用する材料及び施工方法については、室内環境に配慮した選定を行い、室内環境に影響を与える可能性のある材料等については、監督員の指示により、その物性等の確認できる資料を提出する。

2-12　材料の品質等

2 国等での環境物品等の調達に関する法律〔平成12年法律第100号。以下「グリーン購入法」という。〕により、環境負担を低減できる材料を選定するように努める。
3　使用する材料の選定に当たっては、揮発生有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
4　工事に使用する材料は、石綿を含有しないものとする。

1　本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、設計図書に定めのない材料は、当該現場で使用されるほかの材料と比べてバランスのとれた材料とすること。なお、材料は、製造工場により品質管理がなされたものとする。
2　設計図書に定めのある材料については、材料の品質及び性能を有することの証明となる資料を監督員へ提出し、あらかじめ承諾を受けること。
ただし、下記の（１）～（４）に該当する場合は、この限りではない。

(1)　設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示があるものをを使用する場合
(2)　あらかじめ、監督員の承諾を受けた材料を使用する場合
(3)　設計図書により指定された材料、製造者の製品を使用する場合
(4)　「建筑材料・設備機材等品質性能評価事業　建筑材料等評價名簿（契約時の最新版）」に記載されている評価材料を使用する場合（特記等で公共建築物標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書の規定に基づく品質及び性能以外の材料を規定した場合は除く。）
3　設計図書において、指定された材料・製品等については、指定された材料・製品等を使用すること。ただし、種々の関係からやむを得ず同等以上の材料とする場合で、あらかじめ、材料の品質、性能等の証明となる資料等を示し、監督員の承諾を受けた場合は、この限りではない。

受注者は、材料の現場搬入の際、当該材料が設計図書に定められた仕様と適合していることを確認する。このうち、次に指定する材料については監督員の材料検査を受けるものとする。また、指定する材料以外のもので監督員が必要と認めた場合は材料検査を受けること。

工種	指定する材料	備考

技術検査（中間技術検査）は、次の場合に実施する。
(1) 中間技術検査を実施する段階及び回数下記に記載された場合

実施する段階	回数

(2) 施工中における品質確認のため、監督員が必要と認めた場合
(3) 施工过程中における事故等により、監督員が必要と認めた場合
(4) 低入札工事の場合

受注者は、completion時に提出すること。なお、各物品の適用及び数量等は、以下による。

○引渡し図面	サイズ	原因	屏風製本
完成図	()	部数 () 部	部数 () 部
完成図(縮小版)	(A3)	部数 () 部	部数 (1) 部
完成図の入力内容	※(表1.7.1)【表1.8.1】による ・ ()		
その他	○CAD、PDFデータの提出　※CD等による ※屏風製本は正面及び背面紙面に 工事名称を記入すること。		
・引渡し物品		納入品部数	
竣工写真		・2-16による	
建築物等の維持管理に関する説明書		・ () 部	
機器取扱説明書		○ (2) 部	
機器性能試験成績書		○ (1) 部	
各種保証書・検査書及び成績表		○ (1) 部	
工事関係者一覧表		・ () 部	
官庁関係届出書類		・ () 部	
備品等 ()		・ () 部	

2-13　材料検査

2-14　中間技術検査

2-15　引渡し物品等

2-16　竣工写真

工事完了時に次の写真を撮影し、監督員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出数
・外観正面 () 箇所	カラー印画紙キャビネ判	() 部
・外部 () 箇所	カラー印画紙キャビネ判 A 4 アルバム綴じ※	(1) 部
・内部 (1) 箇所	電子データ (JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度)	(1) 部
・外観正面 () 箇所	カラー木製パネル半切(324×400mm)	() 部

4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったものの
建築完成写真撮影実績がある者で、監督員が承認する撮影業者

・外部 () 箇所	カラー印画紙キャビネ判	() 部
・内部 () 箇所	電子データ (JPEGフルカラー)	() 部

1280×960ピクセル以上で、かつデジタルカメラの最高設定の画質写真撮影者は、任意　　注：※のアルバムは併せて作成する。

2-17　足場

足場を設ける場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドラインについて（厚生労働省　令和5年12月26日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」による足場（手すり専用足場又は枠組み足場又はくさび緊結式足場）とする。
足場の組立、解体、変更の作業は、手すり先行工法により行うとともに、使用時には、枠組み足場（妻面を除く）にあつては、交差筋かい＋幅木等十上さん等（各部側）、枠組み以外の足場（枠組み足場の妻面を含む）にあつては、手すり等十中さん等十幅木等（原則各部側＋妻側）の機能を有するものを設ける又はこれらと同等級以上の措置を講じるものとする。
なお設置については、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における「手すり据置方式」又は「手すり専用足場方式」により行うこと。
上記により難しい場合は、監督員との協議による。

1　工事現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した工事看板を表示する。
(1) 工事名称　(2) 工事期間　(3) 受注者及び連絡先
(4) 現場代理人氏名及び連絡先　(5) 工事概要
(6) 発注者及び連絡先　(7) 工事監視者及び連絡先
2　工事現場が複数にわたる場合にも、各現場に設置するものとする。ただし、これにより難しい場合は監督員との協議による。

工事の施工にあたっては、関係法令により、工事現場における標示施設等を設置すること。

見本施工の実施は、次に指定した内容について実施する。

工種	指定する内容

電気保安技術者の配置については、現場説明書(3-(7))による。

履行報告

1　契約条項第11条に規定する履行報告は、工事履行報告書とし、提出の要・不要は、現場説明書（3-(8) 履行報告書）による。
2　記載内容は、次を標準とする。
(1) 工事総合進度（工程表及び契約課書式による。）
(2) 当月の実施作業内容
(3) 現場写真
ア　外観
※定点から撮影し、月毎の工事進捗状況を把握できるものとする。
イ　内観

――契約条項第45条に規定する契約不適合責任に伴う「契約不適合点検の要・不要については、現場説明書（3-(9) 契約不適合点検）による。工事目的物の引渡七日から1年以内（原則として引渡七日から起算して1か月を経過以降、12か月を経過する以前の期間）に工事目的物の、契約不適合点検の実施及び立会いを行う。――
――受注者は、契約不適合点検において、契約不適合があると認められたときは、契約条項のとおり、履行の追完等に対応すること。――

1　設計図書の内容の一部を訂正・変更（以下「設計変更」という。）により契約変更が必要となった場合には、契約条項第24条又は第25条の規定により手続きを行うこと。
2　設計変更の具体的な考え方等については、「相模原市請負工事設計変更ガイドライン（相模原市）」によるものとする。

2-18　工事看板

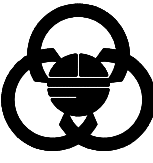
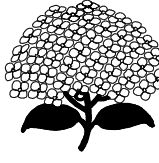
2-19　施工中の安全確保及び環境保全

2-20　見本施工

2-21　電気保安技術者

[illegible]

	SAGAMI HARA		工事名称 市立弥栄小学校給食室修繕									縮尺	図面名称 改修特記仕様書(2)	図面番号 改特〇2 A
												設計年月 2026.06		

	<div><div>(3.2.6)</div><div><div>・既存下地の処理</div><table><tr><th>補修箇所</th><th>形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table></div><div>(3.5.2)</div><div>ルーフィングシートの種類及び厚さ</div><div>・種類() 厚さ()</div><div>※【表3.5.3】による</div><div>(表3.5.3)</div><div>モルタルの塗厚()</div><div>(表3.1.1)</div><div>保護層の新設 ・有(厚さ) ・無</div><div>※こて仕上げの場合、水下で80mm以上</div><div>床タイル張り等の仕上げの場合、水下で60mm以上</div><div>(3.5.4)</div><div>立上り部の保護モルタル塗厚 ※7mm以下 ・()</div></div> <div><div>7 塗膜防水</div><div>(3.1.4)</div><div>・塗膜防水工法</div><div>防水層の種類</div><div>・ウレタンゴム系塗膜防水 施工箇所()</div><div>(3.6.3)</div><div>(改修工法) ・ P O X ・ L 4 X</div><div>(表3.6.1)</div><div>(防水層種別) ・ X－1 (絶縁工法) ・ X－2 (密着工法)</div><div>(表3.6.2)</div><div>・ X－1 H (絶縁工法) ・ X－2 H (密着工法)</div><div>(3.6.3)</div><div>・ゴムアスファルト系塗膜防水 施工箇所()</div><div>(3.6.3)</div><div>(改修工法) ・ P 1 Y ・ P 2 Y</div><div>(表3.6.3)</div><div>(防水層種別) Y－2</div><div>(3.2.5)</div><div>改修用ルーフトレンの設置 (P O X工法の場合)</div><div>・有 ・無</div><div>(3.2.6)</div><div>・既存下地の処理</div><table><tr><th>補修箇所</th><th>形状</th><th>補修箇所の長さ</th><th>補修箇所の数量</th></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table><div>(表3.6.1)</div><div>仕上塗料の種類及び使用量 (X－1、X－2の場合)</div><div>種類()</div><div>使用量 ※主材料の製造所の仕様による ・()</div><div>(3.6.3)</div><div>脱気装置の種類及び設置数量 (絶縁工法の場合)</div><div>種類 ※主材料の製造所の仕様による</div><div>・()</div><div>設置数量 ※主材料の製造所の仕様による</div><div>・()</div><div>(表3.1.1)</div><div>保護層の適用 (P 1 Y、P 2 Yの場合)</div><div>・有(厚さ) ・無</div><div>(表3.6.3)</div><div>工程5の保護層の仕様()</div><div>※保護モルタルとした場合、工程4の絶縁シートは省略</div></div> <div><div>8 シーリング</div><div>(3.1.4) (3.7.2)</div><div>(表3.1.2)</div><div>(3.7.3) (表3.7.1)</div><div>(3.7.4)</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>目地寸法</th><th>シーリング材の種類</th></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table><div>(表3.1.2)</div><div>(3.7.2) (表3.7.1)</div><div>(3.7.3) (3.7.4)</div><div>(3.7.5)</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>目地寸法</th><th>シーリング材の種類</th></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table><div>(表3.1.2)</div><div>(3.7.2) (表3.7.1)</div><div>(3.7.3) (3.7.4)</div><div>(3.7.6)</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>目地寸法</th><th>シーリング材の種類</th></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table><div>(表3.1.2)</div><div>(3.7.2) (表3.7.1)</div><div>(3.7.3) (3.7.4)</div><div>(3.7.7)</div><table><tr><th>施工箇所</th><th>目地寸法</th><th>シーリング材の種類</th></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr></table></div> <div><div>(3.7.8)</div><div>シーリング材の接着性試験</div><div>※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</div><div>9 とい</div><div>(3.8.2)</div><div>(表3.8.1)</div><div>といの材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管</div><div>・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・ステンレス管</div><div>・表面処理鋼板 ・()</div><div>表面処理鋼板の表面及び裏面の塗膜の種類()</div><div>といの径 ()</div><div>とい受金物及び足金物の材質、形状および取付け間隔</div><div>※【表3.8.2】による ・()</div><div>防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・()</div><div>(3.8.3)</div><div>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法</div><div>・() ・図示</div><div>鋼管製といの防露巻き工法</div><div>※【表3.8.4】による ・()</div><div>たてどい受金物の取付け工法</div><div>・() ・図示</div><div>ルーフトレンの取付け工法</div><div>※【3.8.3(6)】による ・()</div><div>10 アルミニウム製笠木</div><div>(3.9.2)</div><div>(表3.9.1)</div><div>構成部材による種類</div><div>・オープン形式 押出形</div><div>(・250形 ・300形 ・350形 ・100形)</div><div>・オープン形式 板材折曲げ形</div><div>(本体幅：(mm) 板厚：※2.0mm ・(mm))</div><div>・シール形式 板材折曲げ形</div><div>(本体幅：(mm) 板厚：※2.0mm ・(mm))</div><div>・付属部品の材料 板材曲げ形</div><div>()</div><div>・役物 板材曲げ形</div><div>(本体幅：(mm) 板厚：(mm))</div><div>(3.9.2)</div><div>(表5.2.2)</div><div>表面処理 種別() 種 皮膜等の種類 ()</div><div>着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系</div><div>・ステンカラー)</div><div>(3.9.3)</div><div>既存笠木等の撤去 ・行う(範囲 ※図示 ・())</div><div>・行わない</div><div>新規アルミニウム製笠木の下地補修の工法</div><div>・図示 ・()</div><div>板材折曲げ形の笠木の取付方法</div><div>・図示 ・()</div><div>笠木の固定金具の工法等</div><div>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法</div><div>※建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)</div><div>倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)</div><div>・()</div><div>4 外壁改修工事</div><div>1 施工数量調査</div><div>(1.6.2～1.6.3)</div><div>調査範囲</div><div>・図示 ・()</div><div>調査方法</div><div>・ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</div><div>・モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を壁面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。</div><div>・コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。</div><div>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。</div><div>・()</div><div>4-1 外壁改修工事</div><div>コンクリート打放し仕上げ外壁</div><div>4-2 外壁改修工事</div><div>モルタル塗り仕上げ外壁</div><div><div>1 ひび割れ部改修工法</div><div>(4.1.4)</div><div>(4.2.5)</div><div>・樹脂注入工法</div><table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>・130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>・50～100</td><td>・40</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>・100～200</td><td>・70</td></tr><tr><td></td><td>0.5以上～1.0以下</td><td>・150～250</td><td>・130</td></tr></table><div>注入量：多少樹脂が残った状態</div><div>：隣のパイプから樹脂が出た状態</div><div>ひび割れ部の注入状況の確認方法</div><div>・行う (※コアの抜き取り ・)</div><div>・行わない</div><div>(コアの抜き取りによる場合)</div><div>抜き取り個数</div><div>※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・()</div><div>抜き取り部の補修方法 ※図示 ・()</div><div>(4.2.6)</div><div>(4.2.4)</div><div>(表3.7.1)</div><div>(4.2.7)</div><div>・シール工法</div><div>充填材料(・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂)</div><div>※充填工法 ・()</div><div>(充填工法の場合)</div><div>・エポキシ樹脂モルタル充填工法</div><div>・ポリマーセメントモルタル充填工法</div><div>2 欠損部改修工法</div><div>(4.1.4)</div><div>(4.2.8)</div><div>既存モルタル塗りの撤去</div><div>・行う(※ 全面 ・図示の範囲)</div><div>ひび割れ部の改修工法</div><div>・樹脂注入工法</div><table><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0以下</td><td>※200～300</td><td>・130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>・50～100</td><td>・40</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>・100～200</td><td>・70</td></tr><tr><td></td><td>0.5以上～1.0以下</td><td>・150～250</td><td>・130</td></tr></table><div>注入量：多少樹脂が残った状態</div><div>：隣のパイプから樹脂が出た状態</div><div>ひび割れ部の注入状況の確認方法</div><div>・行う (※コアの抜き取り ・)</div><div>・行わない</div><div>(コアの抜き取りによる場合)</div><div>抜き取り個数</div><div>※長さ500mごと及びその端数につき1個 ・()</div><div>抜き取り部の補修方法 ※図示 ・()</div><div>(4.2.6)</div><div>(4.3.7)</div><div>(4.2.4)</div><div>(表3.7.1)</div><div>(4.2.7)</div><div>(4.3.8)</div><div>・シール工法</div><div>充填材料(・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂)</div><div>2 欠損部改修工法</div><div>(4.3.3) (4.3.9)</div><div>(4.2.8)</div><div>(4.3.10)</div><div>(4.3.5)</div><div>ひび割れ部改修後の、モルタル撤去部分の補修工法</div><div>・充填工法</div><div>・エポキシ樹脂モルタル充填工法</div><div>・ポリマーセメントモルタル充填工法</div><div>・モルタル塗替え工法</div><div>・現場調査材料 ※【4.3.10】による。</div><div>・既調査材料()</div><div>既製目地材 ・使用する(形状)</div><div>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</div><div>※図示 ・()</div><div>3 浮き部改修工法</div><div>(4.1.4) (4.3.4)</div><div>浮き部改修工法の種類</div><table><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">フックの本数 (本/㎡)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/㎡)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr><tr><td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25</td></tr><tr><td></td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※50</td></tr><tr><td></td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td></td><td>・()</td><td>・()</td><td></td><td></td><td>・()</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25</td></tr><tr><td></td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50</td></tr><tr><td></td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td><td>・()</td></tr><tr><td>・充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table><div>ポリマーセメントスラリー</div><table><tr><td>広がり速度 (cm/s)</td><td>3以上</td></tr><tr><td>長さ変化率 (収縮)</td><td>3% 以下</td></tr><tr><td>引張接着性 (材齢28日)</td><td>0.49N/mm²以上</td></tr><tr><td>曲げ性能 (材齢28日)</td><td>4.9N/mm²以上</td></tr><tr><td>吸水性 (72時間)</td><td>15% 以下</td></tr><tr><td>耐久性 (劣化曲げ強さ)</td><td>5.0N/mm²以上</td></tr></table><div>保水係数 0.35～0.55</div><div>粘調係数 0.50～1.00</div><div>アンカーピンの材質等</div><div>・アンカーピンニング注入工法用のアンカーピン</div><div>※ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの。</div><div>・()</div><div>・注入口付アンカーピンニング注入工法用の注入口付アンカーピン</div><div>※ステンレス鋼(SUS304)とし、呼び径外径6mm程度</div><div>・()</div><div>(4.3.9)</div><div>充填工法の材料による工法種別</div><div>・エポキシ樹脂モルタル充填工法</div><div>・ポリマーセメントモルタル充填工法</div><div>(4.3.10)</div><div>モルタル塗替え工法</div><div>現場調査材料 ※【4.3.10】による。</div><div>既調査材料()</div><div>既製目地材 ・使用する(形状)</div><div>仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置</div><div>※図示 ・()</div><div>検査 (ストローク試験)</div><div>・行わない ・行う</div><div>試験・確認事項</div><div>①使用する「ストローク」の20ストロークの樹脂重量を測定し、その値から1ストロークの樹脂量を決定する。</div><div>②試験は同一の機器にて3回行い、その平均値を求める。</div><div>③30gあたりの所要ストローク数を確認する。</div></div><div><div></div><div>SAGAMI HARA</div><div>相模原市</div><div></div><div>工事名称</div><div>市立弥栄小学校給食室修繕</div><div>縮尺</div><div>—</div><div>設計年月</div><div>2026. 06</div><div>図面名称</div><div>改修特記仕様書(3)</div><div>図面番号</div><div>改特03</div><div>A</div></div></div>	補修箇所	形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	補修箇所	形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	・()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・()	・()	・()	・()	・()	・()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・()	・()	・()	・()	・()	・()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・()	・()	・()	・()	・()	・()	施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類	・()	・()	・()	・()	・()	・()	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70		0.5以上～1.0以下	・150～250	・130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70		0.5以上～1.0以下	・150～250	・130	工法の種類	フックの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・()	・()	・()	・()	・()	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25		・()	・()	・()	・()	・()	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50		・()	・()	・()	・()	・()	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25		・()	・()			・()	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25		・()	・()	・()	・()	・()	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50		・()	・()	・()	・()	・()	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	広がり速度 (cm/s)	3以上	長さ変化率 (収縮)	3% 以下	引張接着性 (材齢28日)	0.49N/mm ² 以上	曲げ性能 (材齢28日)	4.9N/mm ² 以上	吸水性 (72時間)	15% 以下	耐久性 (劣化曲げ強さ)	5.0N/mm ² 以上
補修箇所	形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																																																																																																																																																																																				
・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																				
・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																				
・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																				
補修箇所	形状	補修箇所の長さ	補修箇所の数量																																																																																																																																																																																																																				
・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																				
・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																				
・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	目地寸法	シーリング材の種類																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																					
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130																																																																																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40																																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70																																																																																																																																																																																																																				
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																				
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	・130																																																																																																																																																																																																																				
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40																																																																																																																																																																																																																				
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70																																																																																																																																																																																																																				
	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130																																																																																																																																																																																																																				
工法の種類	フックの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																		
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																			
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	・()	・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																		
	・()	・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																																																																																																																																		
	・()	・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																		
	・()	・()			・()																																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																		
	・()	・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																		
	・()	・()	・()	・()	・()																																																																																																																																																																																																																		
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																		
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																		
広がり速度 (cm/s)	3以上																																																																																																																																																																																																																						
長さ変化率 (収縮)	3% 以下																																																																																																																																																																																																																						
引張接着性 (材齢28日)	0.49N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																																						
曲げ性能 (材齢28日)	4.9N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																																						
吸水性 (72時間)	15% 以下																																																																																																																																																																																																																						
耐久性 (劣化曲げ強さ)	5.0N/mm ² 以上																																																																																																																																																																																																																						